

## 結果の要約

### 1 職業

福島県の15歳以上就業者数(1,010,120人)を職業大分類別にみると、「生産工程・労務作業」が342,722人(15歳以上就業者数の33.9%)と最も多く、次いで「事務従事者」が162,556人(同16.1%)、「販売従事者」が123,783人(同12.3%)などとなっている。平成12年と比べると、「サービス職業従事者」が10,069人(12.1%)増、「保安職業従事者」が591人(4.1%)増となっている。一方、「管理的職業従事者」が5,483人(19.5%)減、「農林漁業作業」が9,570人(9.5%)減などとなっている。

職業4部門別割合は、「生産・運輸関係職業」が37.5%と最も高く、次いで「事務・技術・管理関係職業」が29.7%、「販売・サービス関係職業」が23.0%、「農林漁業関係職業」が9.1%となっている。平成12年と比べると、「販売・サービス関係職業」が1.5ポイント上昇しているのに対し、「生産・運輸関係職業」、「農林漁業関係職業」がそれぞれ1.4ポイント、0.4ポイント低下している。また、「事務・技術・管理関係職業」は同率となっている。

「事務・技術・管理関係職業」 = 「専門的・技術的職業従事者」 + 「管理的職業従事者」 + 「事務従事者」  
「生産・運輸関係職業」 = 「運輸・通信従事者」 + 「生産工程・労務作業」  
「販売・サービス関係職業」 = 「販売従事者」 + 「サービス職業従事者」 + 「保安職業従事者」  
「農林漁業関係職業」 = 「農林漁業作業」

### 2 就業時間

15歳以上就業者の平均週間就業時間は41.9時間で、職業大分類別にみると、「運輸・通信従事者」が48.2時間と最も長く、次いで「保安職業従事者」が45.9時間、「管理的職業従事者」が44.7時間などとなっている。平成12年と比べると、すべての職業大分類で減少となっている。特に、「サービス職業従事者」が1.9時間減、「販売従事者」が1.8時間減となっている。

### 3 夫婦の労働力状態、職業

夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である夫婦が256,880組(夫婦数523,696組の49.1%)と最も多く、次いで夫が就業者で妻が就業者以外である夫婦が135,413組(同25.9%)などとなっている。また、夫と妻ともに就業者である夫婦の職業をみると、夫と妻ともに「生産工程・労務作業」である夫婦が38,630組(夫と妻ともに就業者である夫婦数の15.0%)と最も多く、次いで夫と妻ともに「農林漁業作業」である夫婦が27,219組(同10.6%)などとなっている。

### 4 従業・通学時の世帯の状況

従業・通学時の世帯の状況をみると、「通勤・通学者のみの世帯」は185,197世帯(住宅に住む一般世帯698,319世帯の26.5%)となっている。一方、通勤・通学者以外の世帯員がいる世帯は513,122世帯(同73.5%)で、このうち通勤・通学者以外の世帯員が65歳以上の「高齢者のみ」の世帯が184,606世帯(同26.4%)、「女性のみ」の世帯が80,558世帯(同11.5%)、「高齢者と女性のみ」の世帯が43,358世帯(同6.2%)となっている。

図1 福島県の職業（大分類）別就業者数（平成12年，17年）

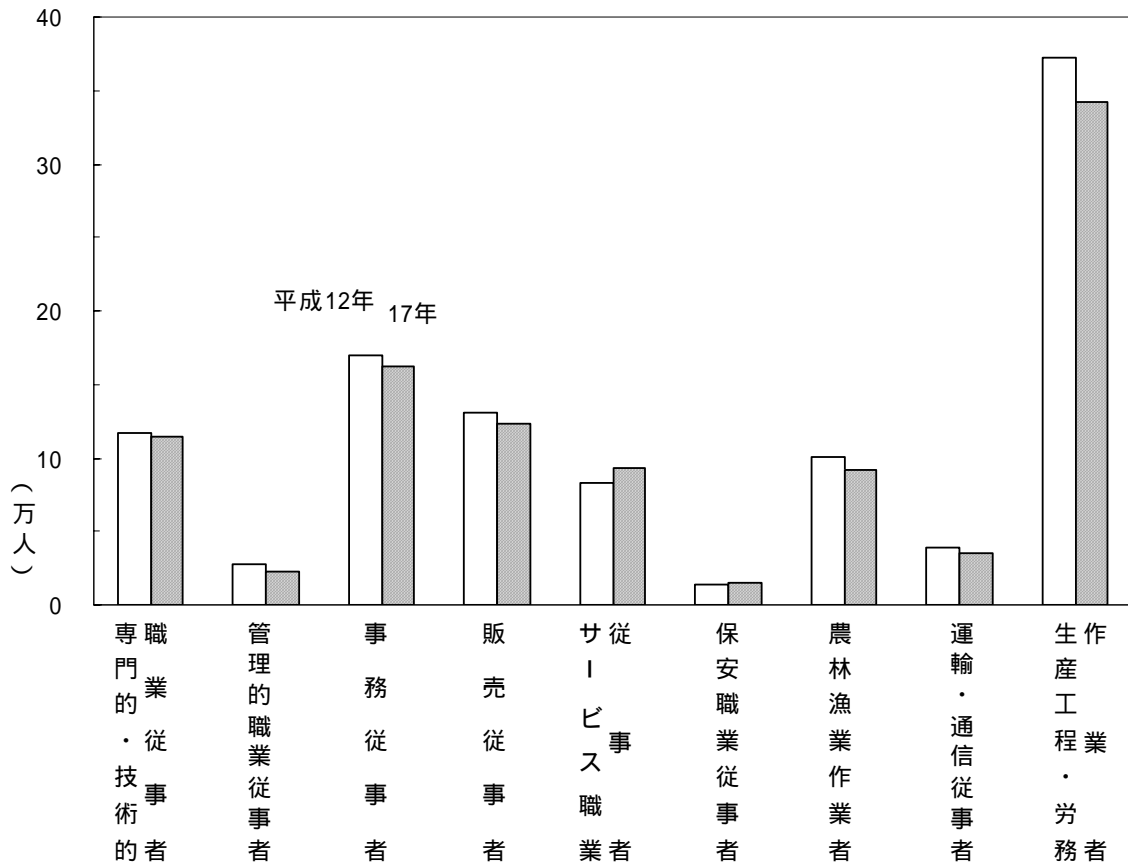


図2 福島県の職業（4部門）別割合の推移（昭和55年～平成17年）

